月刊
RIPPLE
No.51
1986.12.15

【発行】 ¥500
リプル・セイリングクラブ
〒238-03
神奈川県横須賀市長井 2-11-1
☎ 0468-57-1711

発表!! リプル vs. ファーイースト対抗戦

ファーイーストチーム タイトル奪回!!

恒例のリプル・ファーイースト対抗戦は11月30日、北東の風3～5m／sとまずまずのコンディションの中、おこなわれた。23日に行われたファーイーストカップではリプル勢は低迷しており、第1回以来、ずっとリプルがさらっていたこの対決も、今回は蓋を開けてみないとわからないという、まことに怪しげな事になっている。

参加は24艇。リプル13艇、ファーイースト11艇と、数もだいたい揃って、第1レース、絶好のスタートとなった。

ファーイーストは新、藤田らが下馬評どうりの走りでトップに立ち、リプルからは長崎、長谷川（妻）らがこれを追い、トップグループを形成。中位もリプル、ファーイースト双方、まったく互角の戦いとなった。

風は得意の安西は勿論、あの市川、中地らも、リプルの中堅、杉田らにピッタリつけてくる。まさに大混戦となり、振れ回る風に悩まされながらも、約30～40分で各艇フィニッシュ。白熱のうちに、第1レース終了。

やや風が落ちての第2レーススタート。

すでにスタートから大混戦が始まったがリプルチームはやや精彩を欠き、10位以内に入ったのは、長崎、大木、長谷川（妻）の3艇のみ。2度めの防衛が危ぶまれてきた。

ゼネリコ1回の後スタートされた第3レース。あまりの接戦に1時間近いレースながら、中位グループのフィニッシュはまさに横一線。

一人審判していた、当日のコミッティー高槻は、ここへ来て全くタイムの計測不能となり、大接戦の第3レースは無効となった。「ワリーワリー！」と一言も無い高槻であったが、勝負はすでに決っていた。

今回のレースは、出艇24艇中の半数、つまり12位以内の得点で勝敗が決るが、ファーイースト46点、リプル32点と、ナハマカップは、初めてファーイーストへ持っていかれたのであった。

長谷川（夫）、磯貝／渡来組、高槻とCクラスの選手が3艇もかかっていたとはいえ、個人優勝の新、それにつづく藤田／矢藤組はダントツの走りであったし、あの"巨顔"コンビ市川、中地、そしてレースは初めてという女性クルーを乗せたシカーラの前島らが、しっかりと自分のポジションをキープしたのはあっぱれ。

一方、我がリプルチームも、愛艇モスの故障のため、急拠なれないホッパーで出場の長崎。ただ一人のクラスCの意地か、尻上がりにスピードにのり、第3レースでは幻のトップに輝くなどの活躍。

また、仕事で出場できなくなった、夫の代りに登場の旧姓渡辺こと、長谷川由子も「風が強くなったらどーしよう。」とやや不安そうに夫のホッパーでの参加ではあったが、なんの、レースが終ってみれば、「もう少し風が欲しかった。」と、余裕で4位。シーマーチンでならした腕も今だ健在。

8位の相沢も上出来であったし、今回は女性軍の活躍が目立った。

それにしても、7位の大木はなんとか安西に勝ってもらいたかったし、市川、中地の顔面ブランケットにやぶれた杉田、山本／水野組、など今一歩の所でおよばなかったようであり、次回が楽しみな対抗戦である。

レース後はおでんをつつきながら、盛りだくさんの賞品でにぎわった。

来年は6月ごろに挑戦だ！！絶対にカップを取かえすぞ。

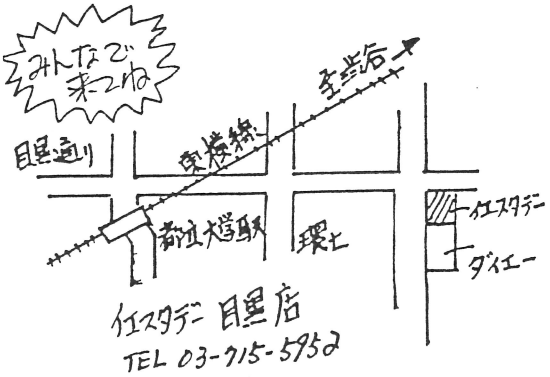
《 第3回 リプル・ファーイースト対抗戦 成績表 》

1	9829	新	シーホッパー	FE	12点
2	115	藤田／矢藤	SS-14	FE	11点
3	6607	長崎	シーホッパー	R	10点
4	7327	長谷川（妻）	シーホッパー	R	9点
5	111545	安西	レーザー	FE	8点
6	668	木村	W.S.F	FE	7点
7	9810	大木	シーホッパー	R	6点
8	2143	相沢	シーマーチン	R	5点
9	9192	市川	シーホッパー	FE	4点
10	10047	中地	シーホッパー	FE	3点
11	7736	杉田	シーホッパー	R	2点
12	4149	前島／金沢	シカーラ	FE	1点
13	4716	山本／水野	シカーラ	R	
14	9154	久保田	シーホッパー	FE	
15	629	荒瀬	シーマーチン	FE	
16	5893	藤村	ミニホッパー	R	
17	128	繁沢／太田	SS-14	R	
18	7586	伊藤	シーホッパー	R	
19	10069	羽田	シーホッパー	FE	
20	1384	正田	W.S.F	R	
21	4023	太田（弟）	シーホッパー	R	
22	6932	鈴木	シーホッパー	R	
23	125	矢部／岡野	スパイダー	FE	
24	9410	平川	シーホッパー	R	

〈得点合計〉
ファーイースト 46点
リプル 32点

クリスマスパーティー

日時：12月20日 土曜日
午後6時30分より9時まで
場所：目黒イエスタデー
会費：1人 5000円
リプルまで電話予約してください。
0468-75-1711



イエスタデー目黒店
TEL 03-715-5952

リプルカップ最終戦 長谷川選手年間優勝!!

12月14日、どんよりと曇ってはいるが、そよそよと西からの風も吹き始め、リプルカップ今年度最終戦のスタートラインを16艇の参加艇がスルスルとくぐり抜けていった。
今年はリプルカップにとっては、いい年であったようで、対抗戦を含めて全9戦、すべて成立したのだ。

さて今回はリプルのめんめんが得意とする微風下での戦いと言うことで、あのレーザー超人達を相手に、かなりの線まで追いすがったのであったが、まだまだ壁は厚いようだ。
3位まではレーザー軍団にとられたものの、ひさびさに、愛艇モスで登場の長崎選手。なかなかの滑りで総合4位に。リプルではどうどうの1位、もちろんクラス優勝と、満足の最終戦となった。
今年度大活躍の大木選手は総合7位、Bクラス優勝。
この日、郷／高槻で乗りまわした6607に勝ち、念願のCクラス入りまであと一歩とこぎつけた。来年が楽しみだ。
あとを追う杉田も今日は素晴らしい走りを見せていたが、第3レーの下マークでとんだトラブルに巻込まれ、順位を落としてしまい残念そう。
Aクラスでは平川選手がマイペースで走り、クラス優勝。この秋2勝めを上げ、Bクラスへ。頑張っていた鈴木選手、一歩およばなかった。

1986年度の年間優勝は、合計51点と、2位以下を大きく引離して、長谷川選手念願の初優勝となった。

1月、2月はリプルカップはお休み。来年は3月からの予定である。お楽しみに。

第27回 リプルカップ

			ネルース	ネルース	ネルース
1位	桑原	レーザー	1	1	1
2位	鈴木	レーザー	4	2	4
3位	城内	レーザー	3	6	2
4	長崎	モス	2	9	4
5	藤本	ミニホッパー	7	3	7
6	宝松	レーザー	5	5	8
7	大木	ミニホッパー	9	7	6
8	郷倉	ミニホッパー	8	4	11
9	杉田	ミニホッパー	6	8	12
10	山本	ミニホッパー	13	10	9
11	藤村	ミニホッパー	14	15	5
12	?	レーザー	16	11	10
13	平川	ミニホッパー	10	14	13
14	鈴木	ミニホッパー	12	13	14
15	松沢	ミニホッパー	11	16	15
16	伊藤	ミニホッパー	15	12	16

初日の出 クルージングのお知らせ

日程　：1月1日　午前5時
　　佐島マリーナロビー集合
　　初日の出を参拝してから三崎漁港の海南神社にて初もうで。
　　午前10時ごろ佐島マリーナにて解散。
使用ボート：26ftフィッシングクルーザー
定員　：9名
費用　：1人5000円
申し込み　：電話でリプル　塩野谷、高槻まで
　　0468－57－1711

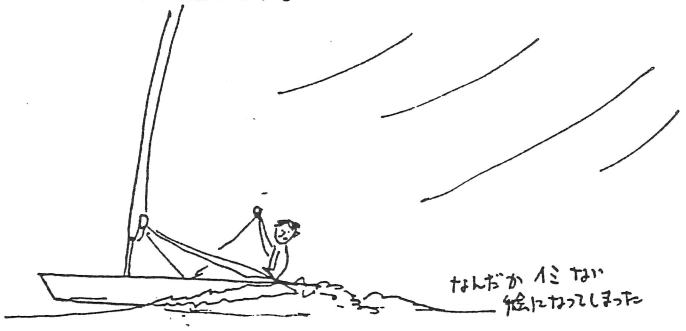
クルーザーに乗りませんかというお話

皆さんおなじみの私、高槻が、30ftのクルーザーを購入!!新艇だぜーっ。
で、塩野谷氏の協力も得て、リプルの皆さんの中からもクルーザー会員を募集いたします。

料金は	土、日会員	入会金	15万円
		月会費	1万5千円
	平日会員	入会金	10万円
		月会費	1万円

となっております。

ヨットの楽しみと言えば最終的には、やはりクルーザー。
とは言え、一人で持つんじゃお金がたいへん。
単なる共同オーナーはメンテナンスや資金の配分でもめるし、なかなか難しいわけです。
そこで、お勧めするのがこれ。
全く初めての人でも、操船や、メンテナンスに悩まず、手頃な値段でオーナー気分のヨットライフが始められるというわけ。
1年も乗っていれば、自然といっぱしのスキッパーになれるでしょう。
クルージングよし、ちょいとひとっ走りもよし、キャビンでの1パイは又カクベツです。
新しいヨットの世界へあなたもいかがですか。
申込は高槻までどうぞ。夜間は自宅☎0468－76－1211です。詳しい資料送ります。

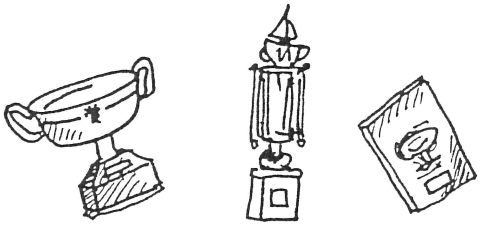


リプルチーム大活躍の一年でした。

11月24日　YAS長浜フリートの年間最終戦が行われた。
レース後の表彰式では61年度の年間優秀者の発表もあった。

今年度活発な活動をつづけたリプル勢は、名賞総なめという感じ。

大木さんが最優秀新人賞。

杉田君がYSA最多出場賞。

鈴木さんが敢闘賞とそれぞれ大きなトロフィーを手にニコニコ顔。来年も頑張ってもらいたい。
なお、61年度リプルの名賞はクリスマスパーティーの時に発表します。身に覚えのある方は参加してください。